

日本工業倶楽部
コーヒークラブの会
第469回例会資料

「一生勉強、一生青春」

—学ぶとは、人生を何度も生きるために『学び続ける』こと—

2020年9月24日(木)
午後2時30分～
日本工業倶楽部
4階第1会議室

(株)開倫塾
代表取締役社長 林明夫

Q 1 : 今日のテーマは何ですか。

A : (1) <メインテーマ> 「一生勉強、一生青春」

* 書家の相田みつを先生のことばです。

(2) ドラッカー先生の名言に「教育ある人とは、学び続ける人」があります。

「教育ある人とは、一生学び続ける人」と考えます。

(3) <サブテーマ> 「学ぶとは、人生を何度も生きるために『学び続ける』こと」

* 政治学者の佐々木毅先生のことばです。

Q 2 : 学力とは何だと考えますか。

A : (1) 「自分から進んで学ぶ力」

(2) 「主体的に学ぶ力」

(3) 「自己学習能力」



Q 3 : 人間にとって基本的な能力とは何だと考えますか。

A : <キー・コンピテンシーズ>

(1) 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる力」

(2) 「多様な集団で交流できる力」

(3) 「自律的に活動する力」

* 但し、この前提は

① 「学び方を学ぶ力」 (Learning To Learn)

② 「思慮深い思考と行為(省察)」

③ 「読解力」



Q 4 : 学力・基本的な能力が身に着いていると、どのような効用があると考えますか。

A : (1) 「人生の成功(a Successful Life)」

* 多様な選択肢のある人生を歩む

(2) 「正常に機能する社会(a Well-Functioning Society)」

* 持続可能な社会の形成

* SDGs



Q 5 : 「反転学習」「アクティブラーニング」の前提は何ですか。

A : (1) 「自己学習能力」を身に着けていること。

(2) 「予習の仕方」「授業の受け方」「復習の仕方」「定着の仕方」「応用力の着け方」も。

(3) どこで学習するのか(Learning Space)… 「図書館」

* 学校図書館、大学図書館、公共図書館など「図書館」の活用方法を身に着けることが前提。

* 公共インフラとしての様々な機能を有する「図書館」の整備が大前提。

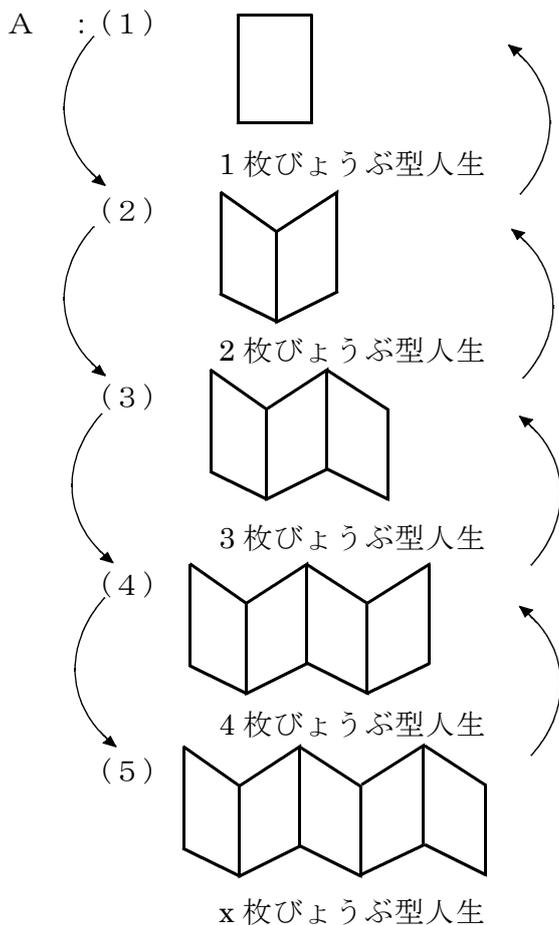
Q 6 : 「論語」から学ぶことは何ですか。

A : (1) 「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず」

(2) 約 2500 年前に書かれた論語は、当時の平均寿命を前提とした教え。

(3) 2500 年前と比べ平均寿命が大幅に伸び、人生 100 年時代を迎える現代は、これに 30 歳を加えて人生の目標とすることを提言したい。

Q7: 「びょうぶ型人生」のすすめ



- (1) 自分の取り組みたい1つの分野・ジャンルを決めたら、その分野を自分なりに深める。ゼロからスタートし、少しずつ積み重ね1枚の「びょうぶ」にする。
- (2) 同時並行して、又、時期をずらして、別の分野・ジャンルにめぐり合ったら、それもゼロからスタートし、少しずつ積み重ね2枚の「びょうぶ」にする。
- (3) 「びょうぶ」は1枚でも2枚でも、又、何枚でも OK、うまく倒れないように工夫。「一生勉強、一生青春」の人生を送る。

- * 「びょうぶの枚数」は、人生の状況に応じて変化。
- * 「びょうぶ」(ジャンル)別に1名からでも「励まし合う仲間づくり」(小人数の研究会・勉強会)も。

Q8: 読書の仕方

- A : (1) ①「本は最後まで読む」
②「本は6回読む」
③これぞという作者・著者の本を、できれば全集で全部読む
- (2) ①キーワードだけはメモを取る
②今からでも「書き抜き読書ノート」作りをする
③中学校・高校・大学時代の教科書を読み返す
- (3) どこで本を読むか(Reading Space)
①自宅
②図書館(公共図書館、大学図書館)
* 「街角図書館」のすすめ
③ Cafe・Bar などでも
* ここでも「励まし合う仲間づくり」を!



Q9: 日本工業倶楽部に望むことは何ですか。

- A : (1) 日本の産業、とりわけものづくりの中心地であり続けていただきたい。
- (2) 日本経済の担い手である経済人のリベラルアーツ探究の中心地であり続けていただきたい。
- (3) そのために、各ジャンル別に年間計画に基づいた講演会の開催で内容の充実を。
- (4) 毎月1人以上、外国からの講師も是非お招きを。

(5) 何人かの先生からは毎年決まった時期にお話をお聞きする。又は、連続講義としてお聞きする。

(6) 時々は見学会も兼ね、現地でお話を聞く機会も。

ズームやパソコンの活用のポイント

(1) 「スマホスタンド」「タブレットスタンド」を利用する。

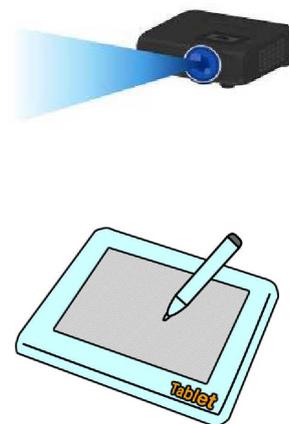
(2) 「ウェブカメラ」で自分の姿を配信する。

(3) 「ヘッドセット」で音声を聞く、自分の声を配信する。

(4) ノートパソコンは「プロジェクター」で拡大して見る。

(5) タブレットやノートパソコンには「キーボード」で入力を。

(6) パソコンや椅子の高さを見やすい位置に調整する。



ご清聴を感謝いたします。

○おすすめ図書

(1) 野中郁次郎・竹内弘高著「ワイズカンパニー、知識創造から知識実践への新しいモデル」東洋経済新報社 2020年9月10日刊。

* 野中・竹中両先生の名著「知識創造企業」の続編を25年ぶりにアップデートした。

(2) 宇野重規著「西洋政治思想史」有斐閣アルマ、有斐閣 2013年10月20日刊。

* 読みやすく、わかりやすい、本質に迫る政治思想史です。

(3) オルテガ・イ・ガセット著、佐々木孝訳「大衆の反逆」岩波文庫、岩波書店 2020年4月16日刊。

* 最も読みやすいオルテガの大衆の反逆、最新訳です。

(4) 岡義武著「明治政治史(上)(下)」「転換期の大正」「山県有朋」いずれも岩波文庫、岩波書店 2019年刊。

(5) ドミニク・S・ライチェン、ローラ・H・サルガニク編著「キー・コンピテンシー、国際標準の学力をめざして」明石書店 2006年5月31日刊。

* OECDのPISA調査の根底となった学力観「キー・コンピテンシーズ」を提示したもの。日本のみならず、全世界の学力観に最も影響を与えた1冊。SDGsの理解にも有益。

(6) 内村鑑三著「後世への最大遺物・デンマーク国の話」「代表的日本人」いずれも岩波文庫、岩波書店刊。

* 日本思想理解の必読書。是非、子どもたちにもおすすめください。

